資料1 第2回審議会の振り返り

●第2回審議会における委員主要意見とその対応方針

委員主要意見			5+15 + -¢1
テーマ		内容	対応方針
基本構想		・まちづくりに係る普遍的な考え方は「どのような社会を 実現するために力を合わせていくのか」まで検討した方 が良い。その上で、例えば、お互いの生き方としての自 由を尊重しあいながら、対話の中で解決や決定が行われ る社会という考え方も良いと思う。	・基本構想の将来像の検討で提示します。
		・まちづくりに係る普遍的な考え方の中で機能と価値観が 並列になっていることに違和感を感じる。	・価値観を上位概念として捉え、その実現に必要な機能という建付けで、再整理を行います。
		・機能の維持は、将来的な利用者である市民数の減少も踏まえる必要がある。中長期的にどうしていくのかという考えをもう少し具体的に出して欲しい。	・将来の人口・財政の推計も踏まえた検討を行います。
目標数値		・幸福度の将来目標値の設定では、施策による幸福度の変 化を調べる感度分析も実施すると良い。	・市民アンケート調査結果を活用して検討を行います。
今後の 施策検討	全体	・ <mark>総合計画の芯になるような施策を一つ設ける</mark> という考え 方はどうだろうか。これだけは市として絶対に実施する という計画の立て方も検討して欲しい。	・総合計画の中でも総合戦略が重点プロジェクトの扱いに なるため、総合戦略で対応を図ります。
	外国人	・外国人の居住地の分布は、ある特定の地域に集中してい るのか、市内に分散しているのか把握した方が良い。	・今後、外国人の地理的分布を把握します。
	高齢者	・人口減少下における攻めの施策として、 <mark>高齢者が住みやすいまちづくり</mark> も考慮して欲しい。	・若者だけでなく、高齢者も含む全世代が住みやすいまち づくりを検討します。